

自己評価報告書(最終報告)

報告者

教員養成特別コース
／端村 達也

■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

I. 学長の定める重点目標

I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

1. 目標・計画

※ 徳島県教育委員会との交流人事で、鳴門教育大学に勤務させて頂いている。2012年度も、科学研究費の申請は行わない。しかし、鳴門教育大学大学院学校教育研究科の教員として、以下のことに取り組む。

- ① 教職大学院の実務家教員として、現場で必要とされている教師の力量形成について、理論と実践の統合を図るための研究を実践する。
- ② 鳴門市の小学校と連携を密にし、学校教職員との情報交換を通して、学校現場が抱えている問題に関わることにより、実効性のある研究となるよう計画をする。
- ③ 小学校教育学を基盤として、教師として求められている資質や能力(教職に関する強い情熱・教育の専門家としての確かな力量・総合的な人間力)の向上に関わる研究を推進する。

2. 点検・評価

徳島県教育委員会との交流人事で、鳴門教育大学に勤務させて頂いている。2012年度は、科学研究費の申請は行っていない。しかし、鳴門教育大学大学院学校教育研究科の教員として、以下のことに取り組んだ。

- ① 現場で必要とされている教師力の力量形成について、「学級経営の基礎的理解と実践」「教科等指導の基礎的理解と実践」、「生徒指導・進路指導の基礎的理解と実践」等の講義やゼミにおいて、実務家教員としての小学校での教職経験をもとに、現場で必要とされている教師の力量形成について、理論と実践の統合を図った。
- ② 計画的に学校訪問を実施して、鳴門市の小学校と連携を密にしたり、管理職をはじめ、メンターを含む学校教職員と情報交換を行ったりすることで、学校現場が抱えている問題に関わり、支援した。
- ③ 小学校教育学を基盤として、教師として求められている資質や能力(教職に関する強い情熱・教育の専門家としての確かな力量・総合的な人間力)の向上に関わる研究を推進しながら、ゼミ生(P2・2名, P1・2名)に教師としての資質や能力が身につけられるよう努めた。

I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

1. 目標・計画

- ① 前年度より多く大学を訪問し、学生を交えて説明するなど、大学院学生募集を積極的に行う。
- ② 教職大学院広報用パンフレットの改善に参画し、大学院学生の定員充足に貢献する。
- ③ 新カリキュラムの編成に参画し、専攻・コースの定員の充足に貢献したい。

2. 点検・評価

- ① 岡山理科大学や岡山就実大学、吉備国際大学に大学訪問を行い(各大学、2回ずつ)、学生に大学院の説明会を実施した。次年度、本コースを希望する学生が数名いた。
- ② 教職大学院広報用パンフレットの改善に参画し、大学院学生の定員充足に努力した。次年度に向けて、学生向けのパンフレットの制作を行っている。
- ③ 意欲的に専攻会議やコース会議に参加した。また、新カリキュラムの移行に伴う課題を検討した。

Ⅱ. 分野別

Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

1. 目標・計画

- ① 学生相談への対応が円滑に行えるようにemailを活用したり、実効的な週録になるよう改善・活用したりして、細かい指導に心掛ける。
- ② 講義時間内に限らず、学生の質問や相談等いつでも気軽に応じることができるように雰囲気づくりに努める。
- ③ 本学で行われている模擬授業や個人面接、集団面接に関わり、本コースの就職率の向上を図る。

2. 点検・評価

- ① 学生の相談への対応がスムーズに実施できるように、効果的にe-mailを活用した。ゼミでは、実習週録をもとに自らの教職経験を具体的に院生に紹介するなどして、実効的な教師力の向上をにとめた努めた。
- ② 授業実践の計画・準備や最終成果報告書作成においては、講義(ゼミ)時間内に限らず、配属校での実習終了後なども利用して、随時、院生の質問や相談に応じ、積極的に支援した。
- ③ 就職支援チーム主催の教員採用実技ガイダンスの模擬授業や集団・個人面接を行った。(3回) また、就職支援室と連絡・調整を図りながら、院生の就職(教員採用試験)に関する支援を行った。
- ④ 本年度末修了生に対して、計画的に進路指導を行い、前年度より、本コースの教員就職率が向上した。

Ⅱ-2. 研究

1. 目標・計画

- ① 学校教育における教育課程の開発や授業の開発等に関する研究を行う。
- ② 教育実践力の向上をめざす、本コースの院生たちのための評価法を検討、開発を行う。
すべての子どもが完全・安心して豊かに学ぶための授業力チェックリストの開発～2年度～
- ③ 授業実践実施報告書の反省及び改善を行う。
- ④ 小学校教育の授業理論と実践に関する研究を進める。

2. 点検・評価

- ① 学校教育における授業開発に関する研究を行うとともに、院生たちのための評価のあり方(サルコー)の見直しを行い、授業実践の振り返りに活用した。
- ② 小学校教育の授業における理論と実践に関する研究を行いながら、鳴門市をはじめ近隣郡市の研修会(鳴門市小教研、鳴人研他)に参加した。
- ③ 院生の実習配属校での授業実践が実効的に進むように、授業実践実施報告書の改善を行った。

Ⅱ-3. 大学運営

1. 目標・計画

- ① 基礎臨床教育学部部会議や専攻会議、コース会議に参画し、任務内容を推進する。
- ② 就職委員として、本コース院生の就職を支援する。
- ③ 地域連携委員として、教育委員会や学校、地域と大学との連携を推進する。
- ④ 大学院入学者選抜試験班の一員として、問題作成や口述試験等を担当する。

2. 点検・評価

- ① 基礎臨床教育学部部会議や専攻会議、コース会議に参画し、任務内容を推進した。
- ② 就職委員として、就職支援チーム主催の教採実技ガイダンスに参加して、学生や院生の就職を支援した。(3回)
- ③ 地域連携委員として、第35回鳴教大教育・文化フォーラムの運営に携わった。
- ④ 平成25年度鳴門教育大学大学院入学者選抜試験試験班として、問題制作や口述試験を担当した。

Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携、国際交流等

1. 目標・計画

- ① 徳島県・鳴門市小学校研究会や小学校体育連盟を支援したり、積極的に参加したりする。
- ② 鳴門市の小学校を中心とした教育支援活動を行う。
- ③ サッカー協会やスポーツ少年団等の企画・運営を通して、社会スポーツの向上に貢献する。
- ④ 教育支援講師・アドバイザーとして支援し、教育の質の向上に努める。
- ⑤ 鳴門市教育委員会の委嘱を受け、委員として連携・協働をする。(教育論文審査・市教育の情報推進協議会等)

2. 点検・評価

- ① 鳴門市小学校研究会体育部会(体操発表会・陸上運動記録会)や鳴門市小学校研究会に参加して、協働して研究を推進した。
- ② 教育支援講師・アドバイザーとして、鳴門市内小学校児童の体力の向上を支援した。(4回)
- ③ 徳島市教育委員会による、学校元気アップ推進事業に指導・助言することで、学校の活性化に協力した。
- ④ 鳴門市教育委員会の委嘱を受け、委員として連携・協働をした。(教育論文審査・鳴門市教育の情報化推進協議会)
- ⑤ 県、市サッカー協会の役員を務め、大会の企画・運営を通して、社会スポーツの向上に貢献した。
- ⑥ 教員免許状更新講習の担当講師として講義を実施した。

Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)